

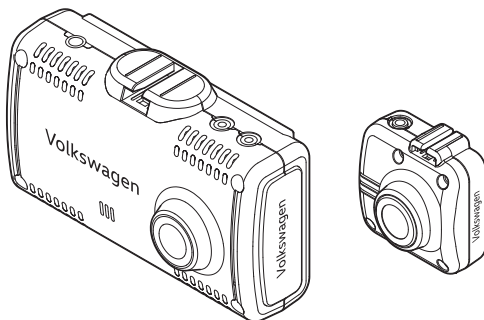


Drive Recorder DR-C2-VW

品番：J0V DD9 E01

取扱説明書 本体編

この度は、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。本機は日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。



Copyright © Volkswagen 2021

Copyright © 2021 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。



STARVISおよび **STARVIS** はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

CELLSTAR®

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

もくじ

はじめに

| | |
|---------------------------|----|
| 安全上の注意 | 4 |
| microSDカードについての取り扱い注意事項 | 6 |
| 使用上の注意 | 7 |
| 録画についての注意事項 | 7 |
| 取り付けについての注意事項 | 7 |
| microSDメンテナンスフリー機能について | 7 |
| パーキングモードについて | 7 |
| GPSについて | 8 |
| ディスプレイについて | 8 |
| タッチパネルについて | 8 |
| ナイトビジョン ver.3について | 8 |
| 電源ケーブルについて | 8 |
| アイドリングストップ車での使用について | 8 |
| 安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について | 9 |
| GPSおしらせ機能について | 9 |
| 専用ビューアソフトについて | 9 |
| カメラレンズの注意事項 | 9 |
| 事故発生時の注意事項 | 9 |
| 本体/付属品 | 10 |
| 付属品 | 10 |
| オプション品 | 11 |
| 各部の名称と機能 | 12 |
| 本体 | 12 |
| 別体カメラ | 13 |

取り付けと準備

| | |
|----------------------|----|
| 取り付け方法 | 14 |
| フロントガラスへの取り付け | 14 |
| 本体用マウントベースから本体を取りはずす | 15 |
| リヤガラスへの取り付け | 16 |
| 本体と別体カメラを接続 | 17 |
| 接続方法 | 17 |
| 別体カメラの設定 | 17 |
| microSDカードの挿入および取り出し | 18 |
| microSDカードの挿入 | 18 |
| microSDカードの取り出し | 19 |

基本操作

| | |
|------------------|----|
| 製品の使用方法 | 20 |
| 電源のON/OFF | 20 |
| エラーメッセージ | 21 |
| ディスプレイ | 22 |
| タッチパネルについて | 23 |
| 録画方法 | 24 |
| 録画モードについて | 24 |
| クイック録画機能（手動） | 25 |
| 撮影モードについて | 25 |
| パーキングモードについて | 26 |
| パーキングモードの録画モード設定 | 27 |
| パーキングモードのLED動作 | 28 |
| パーキングモードの動作 | 28 |

各種設定

| | |
|------------------------|----|
| 各種設定の変更 | 29 |
| 設定の変更方法（例：アイコン表示） | 29 |
| 設定一覧 | 30 |
| 設定一覧（つづき） | 31 |
| 画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧 | 32 |
| 3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧 | 32 |
| 画像モード設定 | 33 |
| その他の機能 | 34 |
| 再生モード | 34 |
| 安全運転支援機能（本体カメラ） | 35 |
| 前車発車警告 | 35 |
| 車間距離保持警告 | 35 |
| 車線逸脱警告 | 35 |
| 安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧 | 35 |
| キャリブレーション | 36 |
| 車種を設定する | 36 |
| 地平線（前方）を調整する | 37 |
| ボンネットを調整する | 37 |
| 安全運転支援機能（別体カメラ） | 38 |
| 後車接近警告 | 38 |
| 安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧 | 38 |
| キャリブレーション | 39 |
| 地平線（別体カメラ）を調整する | 39 |
| GPSおしらせ機能 | 40 |
| MyCellstarについて | 41 |
| パソコンでGPSデータをダウンロード | 41 |
| GPSデータ更新 | 44 |
| GPSデータの版数確認 | 44 |
| GPS測位について | 45 |
| 災害・危機管理通報機能 | 46 |
| 災害・危機管理通報設定 | 47 |
| 災害・危機管理通報例 | 47 |
| フォーマット | 48 |
| システムリセットと強制初期化 | 49 |
| システムリセット | 49 |
| 強制初期化 | 49 |
| キャリブレーション設定 | 50 |
| ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて | 51 |
| 専用ビューアソフトの動作環境 | 51 |

困ったときは

| | |
|--------------------|----|
| 故障かな？と思ったら | 52 |
| その他 | |
| 製品の仕様 | 53 |
| microSDカードのデータについて | 55 |

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。

警告



本機の取り付けは、必ずパワー（イグニッション）スイッチをオフにした状態でおこなってください。

* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。




















警告

- !** 本機および別体カメラは、ガラス面に正しく取り付けてください。ガラス面をきれいに拭いたあと、本機および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機および別体カメラがガラス面からはずれ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
* 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** 本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- !** GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- !** フロントガラスにメタルコーティングされた車両はGPS受信障害が発生することがあります。
- !** 車両のAMラジオにノイズ干渉する場合があります。
- !** トンネル入出時のように急激に明るさがかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- !** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
- !** フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- !** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- !** LED方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- !** 撮影場所の環境によっては映像にフリッカー（縞模様など）が出る場合があります。
- !** 録画状況により映像ファイルが1分以内になる場合があります。
- !** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
- !** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- !** 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して一切の責任を負いかねます。
 -  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
 -  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
 -  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、一切の責任を負いかねます。
 -  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
 -  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取りはずしてください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
 -  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
 -  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
 -  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
 -  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
 -  指定の microSD カード以外には使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
 -  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
 -  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
 -  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
 -  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
 -  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
 -  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
 -  microSD カードを別に購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをご購入ください。GDO-SD32G1（J0V DD9 E01 A3）、GDO-SD64G1（J0V DD9 E01 A4）

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、一切の責任を負いかねます。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- 別紙の車種専用取付説明書を確認して正しく取り付けてください。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- 設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- * 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- * 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- * パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- パーキングモードは、必ず本機に適合したオプションの駐車監視モードケーブルを使用してください。電源ケーブルなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの駐車監視モードケーブルの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。(12V設定推奨) パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して一切の責任を負いかねます。
- 車両バッテリーあがりに関して、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 暗い場所など録画できない場合があります。

GPSについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いいためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

タッチパネルについて

- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。【→P50】
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

ナイトビジョン ver.3について

- STARVIS™IMX327搭載。STARVIS（スタービス）は、1μm²あたり、2000mV以上(カラー品、706cd/m²光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算)の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用裏面照射型画素技術です。
- 走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトビジョンまたはHDRナイトビジョン1～3で調整してください。【→P30】

電源ケーブルについて

- 本機は専用の電源ケーブルを使用してください。それ以外の電源ケーブルを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について

- ・「キャリブレーション（安全運転支援）」にて、設置する車に合わせて調整してください。【⇒P36、P39】
- ・夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・安全運転支援機能による事故に関し一切の責任を負いかねます。

GPSおしらせ機能について

- ・各種GPSデータは、セルスター工業独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- ・事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- ・GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- ・GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- ・本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトは、セルスター工業のWEBサイトからダウンロードできます。
(<https://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>)
- ・本体カメラと別体カメラの録画映像は、Windowsメディアプレーヤーなどでも再生可能です。

カメラレンズの注意事項

- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は大変熱くなってますので、直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項



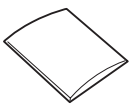
- ・本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【⇒P19】
- ・パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- ・microSDカードはwindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

本体/付属品

付属品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

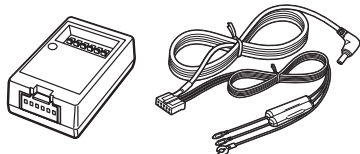
* その他注意書きが同梱している場合がございます。

| | | | |
|--|--|--|--|
|  <p><input type="checkbox"/> 本体</p> |  <p><input type="checkbox"/> 別体カメラ</p> |  <p><input type="checkbox"/> カメラ接続コード コード長：9.0m</p> |  <p><input type="checkbox"/> 電源ケーブル コード長：5m</p> |
|  <p><input type="checkbox"/> 本体用マウントベース * あらかじめ両面テープ（ガラス用）が貼られています。</p> |  <p><input type="checkbox"/> 別体カメラ用 （Lボールジョイント）</p> |  <p><input type="checkbox"/> 別体カメラ用 （ストリートボールジョイント）</p> |  <p><input type="checkbox"/> 別体カメラ用両面テープ （ガラス用/黒色）</p> |
|  <p><input type="checkbox"/> 別体カメラ用両面テープ （内装用/灰色）</p> |  <p><input type="checkbox"/> microSDカード 32GB * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体に挿入されています。</p> |  <p><input type="checkbox"/> 六角レンチ</p> |  <p><input type="checkbox"/> 結束バンド×10</p> |
|  <p><input type="checkbox"/> スポンジテープ</p> |  <p><input type="checkbox"/> コードクリップ×5</p> |  <p><input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー</p> |  <p><input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書）</p> |

オプション品

別途お買い求めください。

駐車監視モードケーブル



GDO-41V (J0V DD9 E01 A1)
コード長：DC OUT5.0m/DC IN2.5m

SDカード



SDカード32GB
GDO-SD32G1 (J0V DD9 E01 A3)

SDカード64GB
GDO-SD64G1 (J0V DD9 E01 A4)

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

各種
設定

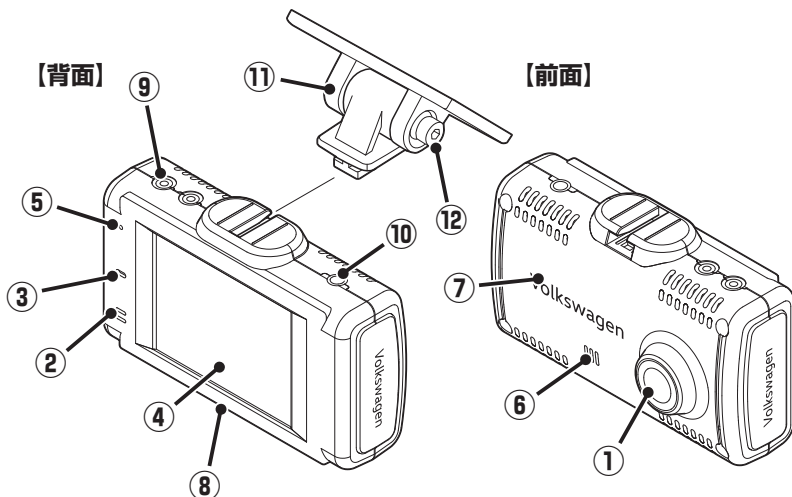
困ったときは

その他

アフター
サービス

各部の名称と機能

本体



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

④ タッチパネルディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、タップして操作します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオなどの衛星を受信します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑨ カメラソケット (CAM)

カメラ接続コードで別体カメラを接続します。

⑩ DC12V/24Vソケット (DC IN)

専用の電源ケーブルを接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑪ 本体用マウントベース

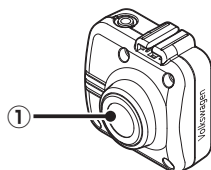
あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

⑫ 固定ネジ

本機の取り付け角度を調整します。

別体カメラ

【前面】



① 撮影用カメラレンズ

*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② 別体カメラ用（Lボールジョイント）

付属の別体カメラ用両面テープ（ガラス用 / 黒色）でリヤガラスなどに取り付けます。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラソケット（CAM）

カメラ接続コードで本体に接続します。

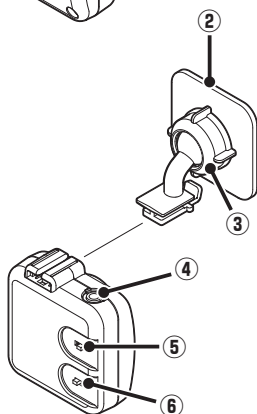
⑤ 上下切りかえスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。

【背面】



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

取り付け方法

フロントガラスへの取り付け

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

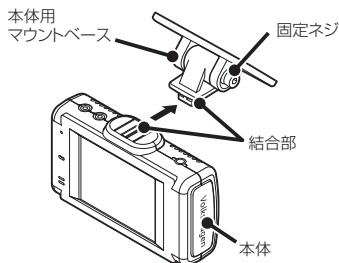
- 別紙の車種専用取付説明書を確認して正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用の電源ケーブル以外のコードを使用しないでください。
- 本機および別体カメラを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機および別体カメラがはずれる場合がございます。

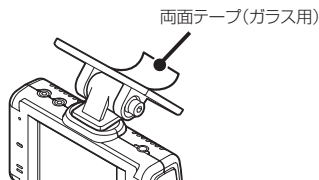
ガラス面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

1 本体用マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



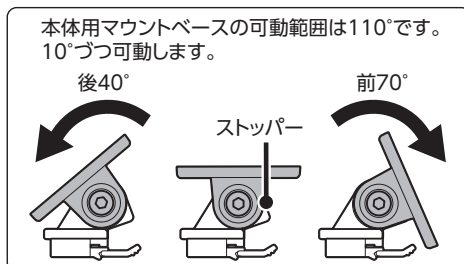
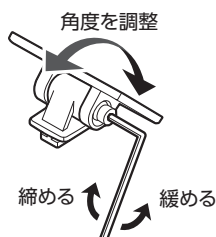
2 両面テープ（ガラス用）を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

- * 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。



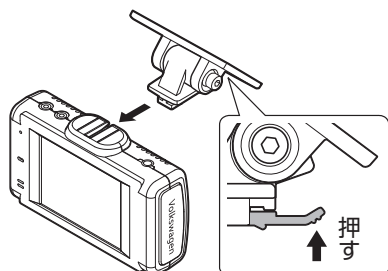
- * 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

- 3 固定ネジを付属の六角レンチで緩め、本体用マウントベースの角度を調整する。
 角度が決まったら、固定ネジを締める。



本体用マウントベースから本体を取りはずす

本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはずします。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

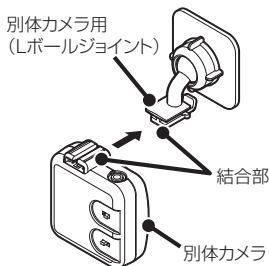
アフター
サービス

リアガラスへの取り付け

⚠ 注意 リヤガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- リヤのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- リヤガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られてる車両は、夜間や暗い場所では録画映像が見つらなくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見つらなくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見つらなくなる場合があります。
- 後方の安全運転支援機能 (煽り運転防止) を有効にするにはキャリブレーション設定をおこなってください。【➡P39】

- 1 別体カメラ用 (Lボールジョイント) と別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。



- 2 別体カメラ用両面テープ (ガラス用/黒色) を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、熱線を選避けて取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。

角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。

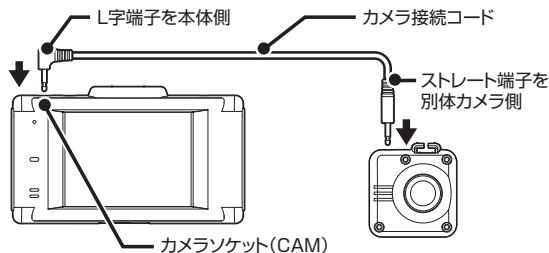


- * 必要に応じて、先に別体カメラ用 (Lボールジョイント) を車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 別体カメラの正像鏡像切りかえスイッチをM (鏡像) に変更してください。【➡P17】

本体と別体カメラを接続

接続方法

付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



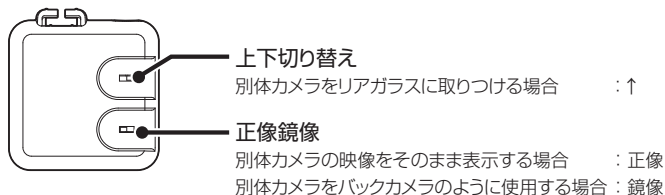
⚠ 注意

- ・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- ・カメラ接続コードは、雨漏りしないよう配線してください。
- ・付属のカメラ接続コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所、使用方法に合わせて別体カメラの設定を変更します。

■ 推奨設定



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

microSDカードの挿入および取り出し



注意

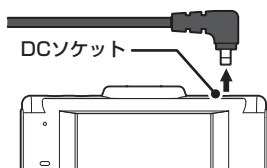
microSD カードを使う前に、次の内容を確認してください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。また、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機から電源ケーブルをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
- 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

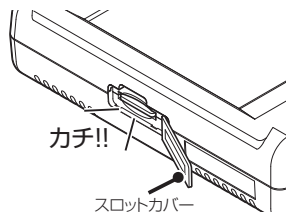
microSDカードの挿入

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

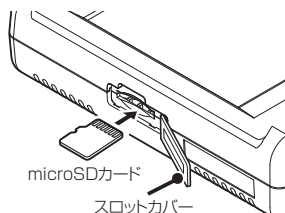
- 1 電源ケーブルをはずし、電源OFFになっていることを確認する。



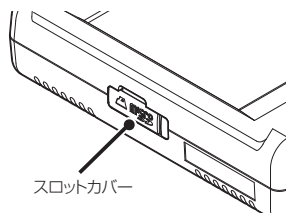
- 3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



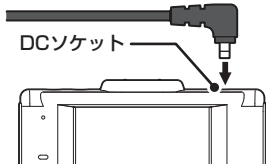
- 2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。



- 4 スロットカバーを閉じる。



5 電源ケーブルを接続する。



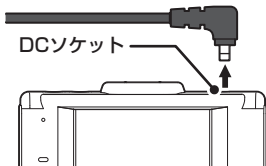
⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

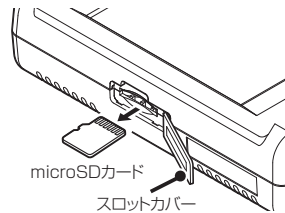
microSDカードの取り出し

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

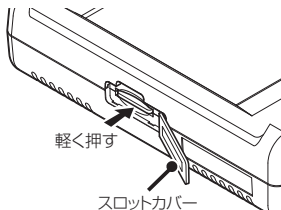
1 電源ケーブルをはずし、電源OFFになっていることを確認する。



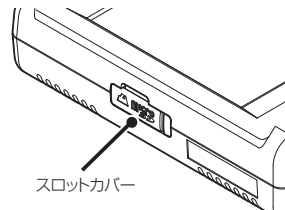
3 microSDカードを取り出す。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

製品の使用方法

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、電源ケーブルが車両につながれている状態で車のパワー（イグニッション）スイッチををオンにします。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、ボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。【→P31】
- * 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをオフにすると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

エラーメッセージ

SDカード認識エラー
SDカードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、LEDが消灯し、効果音とボイスアシストが出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* フォーマットしてもディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

ボイスアシスト：SDカードを認識しません。

SDカードのファイルシステム、
またはアロケーションサイズが間違っています。
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、LEDが消灯し、効果音出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、LEDが消灯し、効果音出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。【→P49】

SDカードエラー
SDカードに異常があります。
SDを交換してください。

■ microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合に表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サポート
サービス

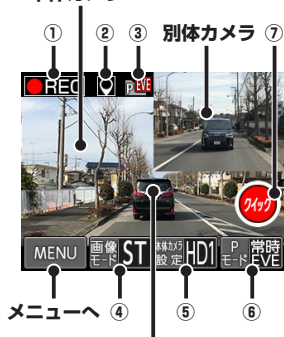
ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

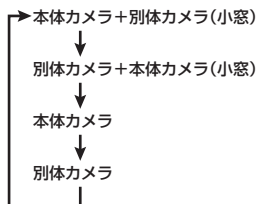
画面をタップして、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

- * 再生する場合は「再生モード」【▶P34】、設定メニューの変更は「設定の変更方法」【▶P29 ~ P32】をご覧ください。
- * 別体カメラを接続していない場合、上部に別体カメラ未接続アイコン (P29) を表示し、小窓は表示されません。
- * 工場出荷時の表示状態となります。設定の「別体カメラ表示」をメインに変更するとメイン画面が本体カメラから別体カメラの映像に切りかわります。
- * アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切りかえ画面に切りかわります。

本体カメラ



別体カメラ接続時、画面をロングタップ (3秒後指を離す動作) すると、ディスプレイに表示される映像が次のように切りかわります。



■ 画面アイコンの種類

| アイコン | 内容 |
|-----------------|---|
| ① 録画モード | <ul style="list-style-type: none"> REC 常時録画の状態 アイコンをタップするとクイック録画を開始します。 EVENT イベント録画の状態 QUICK クイック録画の状態 |
| ② GPS | <ul style="list-style-type: none"> GPSを測位するとアイコンが表示されます。 |
| ③ パーキングモードアイコン | <ul style="list-style-type: none"> P-EVE パーキングモードのイベント録画ファイルが記録されています。 P-MO パーキングモードのモーション録画ファイルが記録されています。 P-EVE MO パーキングモードのイベントとモーション録画ファイルが記録されています。 |
| ④ 本体カメラの画像モード設定 | <ul style="list-style-type: none"> CU カスタム タップすると本体カメラの画像モード設定にショートカットできます。 HI 高画質 ST 標準 * 別体カメラは設定メニューより設定をおこなってください。 LO 長時間 |
| ⑤ 本体カメラ設定 | <ul style="list-style-type: none"> NM ノーマル HDR HDR タップすると本体カメラ設定にショートカットできます。 NV ナイトビジョン HDI HDR+ ナイトビジョン 1 * 別体カメラは設定メニューより設定をおこなってください。 HD2 HDR+ ナイトビジョン 2 HD3 HDR+ ナイトビジョン 3 |
| ⑥ パーキングモード設定 | <ul style="list-style-type: none"> 常時 オン 常時 P-MO オン モーション タップするとパーキングモード設定にショートカットできます。 常時+イベント オン 常時+イベント * オプションの駐車監視モードケーブルを接続すると表示されます。 常時+イベント オン モーション+イベント OFF オフ |
| ⑦ クイック録画ボタン | <ul style="list-style-type: none"> アイコンをタップするとクイック録画を開始します。 * アイコン表示のオン/オフ設定可能。【▶P31】 |

* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできません。【▶P31】

* インポーズ記録をオンにすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます 【▶P31】

設定メニューの「画面表示」で速度または時計に設定し、表示することができます。【➡P31】

- * 画面をタップするとカメラ映像を表示して、メニューやクイック録画の操作が可能になります。
- * カメラ映像を表示していない場合も録画されます。



速度



時計

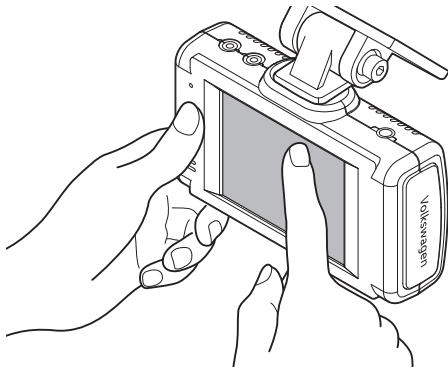


オフまたはオールオフ

- * GPSが未測位のときは「---km/h」と表示されます。

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タッチパネルの操作

- タップ：画面をタッチして、すぐ指を離す動作
- ロングタップ：画面をタッチして、3秒後に指を離す動作

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
 - 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きをもどし電源を入れなおしてください。
 - 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。またタップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
 - 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
 - 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。
- * タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定【➡P50】にてタッチパネルを補正してください。

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押しついたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
スー
ビス

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。【▶P22】

* 記録中の音声録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。【▶P30】

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

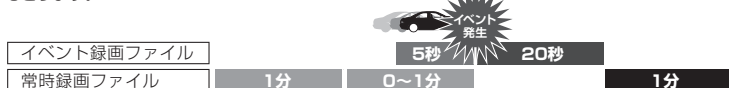
LEDが点滅し、1分単位で録画し続けます。



* パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。

■ イベント録画モード (自動)

常時録画中にイベント (走行中の外部衝撃や事故) が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDが点滅 (速い) し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画モード後、常時録画モードにもどります。



* 常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度」で調整することができます。【▶P30】
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画 (microSDカード総容量の73%)、イベント録画 (microSDカード総容量の20%) で分割管理されています。
- * 本体カメラと別体カメラの記録映像は、1つのファイルで保存されます。Windowsメディアプレーヤーなど専用ビューアソフト以外でも映像を再生できます。
- * 録画モードでイベント録画 (手動による撮影も含む) をおこなっている最中は、タッチパネルの操作を受け付けません。タッチパネルの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故など発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ (蓄電能力を持つコンデンサ) により、事故の衝撃で電源ケーブルがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。

microSDカードの保存先とファイル名について

| 録画モード | 保存フォルダ名 | ファイル名 | 最大保存容量 |
|-----------|----------|------------------|----------------|
| 常時録画モード | INFINITE | 通常時 | : NNF_****.avi |
| | | パーキングモード | : PNF_****.avi |
| | | パーキングモード (モーション) | : PMF_****.avi |
| イベント録画モード | EVENT | 通常時 | : NEF_****.avi |
| | | パーキングモード | : PEF_****.avi |

- * ファイル名の**** には、年月日・時分秒・インデックス_カメラ映像番号 (1: 本体カメラ映像、2: 別体カメラ映像) が入ります。例: 210531-101010_1は、2021年5月31日10時10分10秒 本体カメラ映像です。

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- * 「アイコン表示」をオンにしてください。【→P31】
- * V-OUT（ビデオ出力）がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。
- * 録画映像は、クイック録画を開始した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

- 1 本機の動作中に左上の【●REC】または【クイック録画ボタン】をタップする。



【クイック録画ボタン】

効果音とLED点滅（速い）し、イベント録画をおこないます。



撮影モードについて

静止画を手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。



- 2 【撮影モード】を選択（タップ）する。



- 3 【カメラアイコン】をタップする。



カメラアイコン以外をタップすると、撮影機能を終了します。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

パーキングモードについて

本機に適合したオプションの駐車監視モードケーブルを使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。

録画方式は常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。

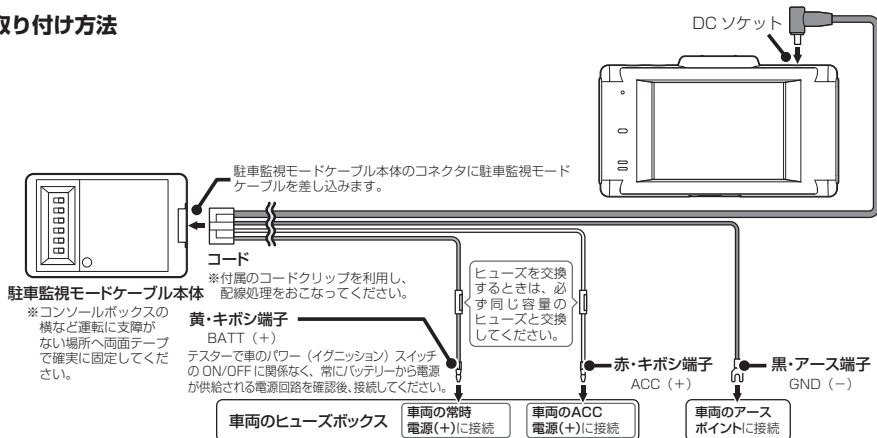
パーキングモードは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにしACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（画面が消え、LEDが遅く点滅します。）

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONIになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

警告

- ・パーキングモードは、必ず本機に適合したオプションの駐車監視モードケーブルを使用してください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、駐車監視モードケーブルの時間設定を「0時間」にしてください。
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時に電圧低下しない電源に配線してください。

■ 取り付け方法



* 別紙の車種専用取付説明書を確認して正しく取り付けてください。

* 本機がオプションの駐車監視モードケーブルを認識できない場合やパーキングモード中、電源ケーブルを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、本体LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

| | |
|--------|--------------|
| 画像 | D1（別体カメラ：D1） |
| 画質 | 低 |
| 明るさ | 中 |
| コントラスト | 中 |

* パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、駐車監視モードケーブルのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの駐車監視モードケーブルに付属の取扱説明書をお読みください。

* カメラ接続コードがはずれたなど、別体カメラを認識していない場合、本体カメラだけで録画されます。

パーキングモードの録画モード設定



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【パーキングモード】をタップする。



4 録画モードを選択（タップ）する。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切りかえ画面までもどり、【録画モード】をタップします。



駐車監視モードケーブルが接続されると、画面に「パーキングモード設定」のアイコンを表示します。

* パーキングモードのアイコンは、パーキングモードの録画モードにより異なります。
【→P222】

パーキングモードの録画モード

| | |
|---------------|---|
| オン 常時 | 常時録画を記録しつづけます。（古いファイルは消去されます。） * 常時録画は [INFINITE] フォルダに保存されます。 |
| オン モーション | 本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダに保存されます。 |
| オン 常時+イベント | 常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。 * 常時録画は [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。 |
| オン モーション+イベント | 本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）のイベント録画を記録します。 * モーション録画は常時録画として [INFINITE] フォルダ、イベント録画は [EVENT] フォルダに保存されます。 |

* パーキングモード中の常時録画またはモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

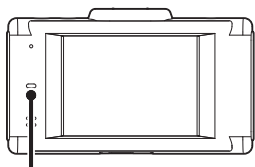
各種設定

困ったときは

その他

サブタスク1

パーキングモードのLED動作



LED ランプ

| | |
|---------|-------------------------|
| 常時録画 | 遅い点滅 |
| モーション録画 | 検知: 遅い点滅 待機中: 遅い2回点滅 |
| イベント録画 | 速い点滅 |

パーキングモードの動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態をLEDの点滅で表示します。

- ・パーキングモードの動作中、【●REC】もしくは【クイック】をタップすると、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。【→P22】



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのEVENTフォルダに保存されます。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。
- * イベント録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

パーキングモードの動作中、モーション録画が発生した場合

パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。【→P22】



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのINFINITEフォルダに保存されます。

- * パーキングモード中のモーション録画は、1ファイルに記録される録画時間が、画像モード設定により変動します。
- * モーション録画が発生した初回の起動時のみお知らせします。

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン表示）

各設定メニュー【→P30～P32】を変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、付属のmicroSDカードに収録している専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切り換え画面に切りかえる。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切り換え画面に切りかえます。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 設定モード画面右部の【▲ ▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



4 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切りかえる。設定項目が多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、項目をスクロールさせます。



5 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右部の【戻る】をタップして設定モード画面までもどり、画面右部の【▲ ▼】をタップして、設定メニューを選ぶ。

設定を終了して録画モードにもどる場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切り換え画面までもどり、【録画モード】をタップします。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
ービス

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

| メインメニュー | 設定値 | 設定項目 |
|---|---------------|--|
| 音量調整 | 2 | 3 : 音量を (大) にします。 |
| | | 2 : 音量を (中) にします。 |
| | | 1 : 音量を (小) にします。 |
| | | 0 : 音量を (無) にします。 |
| 画像モード設定 | 高画質 | 高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 |
| | | 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 |
| | | 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 |
| | | カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。【→ P32】 |
| 本体カメラ設定 | HDR ナイトビジョン 1 | ノーマル : HDR、ナイトビジョンによる画像補正をおこないません。 |
| | | HDR : HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトビジョンによる画像補正をおこないません。 |
| 別体カメラ設定 | HDR ナイトビジョン 1 | ナイトビジョン : STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正をおこないません。 |
| | | HDR ナイトビジョン 1 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。ナイトビジョンによる光量の効果は (小) です。 |
| | | HDR ナイトビジョン 2 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。ナイトビジョンによる光量の効果は (中) です。 |
| | | HDR ナイトビジョン 3 : HDR とナイトビジョンによる画像補正をおこないます。ナイトビジョンによる光量の効果は (大) です。 |
| 別体カメラ表示 | オン | オン : 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 |
| | | オン 優先 : 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 |
| | | オフ : 別体カメラを非表示にします。 |
| | | メイン : 別体カメラをメインで表示します。 |
| 音声録音 | オン | オン |
| | | オフ |
| 3G センサー感度 | 6 | 10 : 3G センサーを高感度に設定します。 |
| | | 9 |
| | | 8 |
| | | 7 |
| | | 6 |
| | | 5 |
| | | 4 |
| | | 3 |
| | | 2 |
| | | 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 |
| カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。【→ P32】 | | |
| 録画モード | オン 常時+イベント | 常時 : 常時録画 (1分単位) します。 |
| | | 常時+イベント : 常時+イベント録画します。 |
| | | 4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 |
| 画面明るさ | 4 | 3 |
| | | 2 |
| | | 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。 |
| | | オン : ディマー機能を設定します。 |
| ディマー | オン | オフ : ディマー機能を設定しません。 |
| | | * ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。 |
| ボイス | オン | オン : 音声案内をおこないます。 |
| | | オフ : 音声案内をおこないません。 |

設定一覧 (つづき)

- * 設定値は初期設定のものです。
- * は駐車監視モードケーブル接続時、項目が表示されます。

| メインメニュー | 設定値 | 設定項目 |
|---------------------|-------------|---|
| 画面表示 | オン | オン : カメラ映像を表示します。 オン 時計 : ディスプレイに時計を表示します。 オン 速度 : ディスプレイに速度を表示します。 オフ : 画面表示しません。 オールオフ : 画面、LED、ボイスをオフにします。 |
| クイック録画ボタン表示 | オン | オン : ディスプレイにクイック録画ボタンを表示します。 オフ : ディスプレイにクイック録画ボタンを表示しません。 |
| アイコン表示 | オン | オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。 |
| インポーズ記録 | オン | オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。 |
| V-OUT (ビデオ出力) | オフ | オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。 |
| 位置情報取得 | オン | オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。 |
| GPS おしらせ機能 | 小学校、中学校以外オン | 取締機 : オープスなど速度取締機の設置ポイントをお知らせします。 |
| | | 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。 |
| | | ゾーン 30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域 (ゾーン 30) をお知らせします。 |
| | | 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 |
| | | 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 |
| 災害危機管理 通報設定 | 最優先 : オン | オン : 割り込みます。 |
| | 優先 : オン | オフ : 割り込みません。 |
| | 通常 : オフ | |
| 安全運転支援機能 (本体カメラ) | — | 安全運転支援機能 (本体カメラ) を設定します。【➡ P35】 |
| 安全運転支援機能 (別体カメラ) | — | 安全運転支援機能 (別体カメラ) を設定します。【➡ P38】 |
| パーキングモード | オン 常時+イベント | オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ |
| パーキングモード感度 | 6 | 10 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。 |
| フォーマット | — | microSD カードのフォーマットをおこないます。【➡ P48】 |
| キャリブレーション設定 | — | タッチパネルを補正します。【➡ P50】 |

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

| カスタム | 設定値 | 設定項目 |
|--------|-----|---|
| 画像 | D1 | FHD : 1920×1080 ピクセル HD : 1280×720 ピクセル D1 : 720×480 ピクセル |
| 画質 | 低 | 高 標準 低 |
| 明るさ | 中 | 明 中 暗 |
| コントラスト | 中 | 高 中 低 |

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

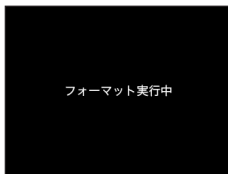
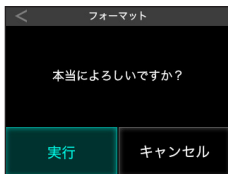
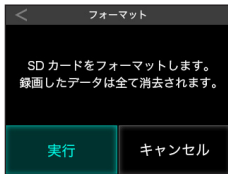
| カスタム | 設定値 | 設定項目 |
|------|-----|-------------------------|
| 前後 | 6 | 10 : 3G センサーを高感度に設定します。 |
| | | 9 |
| | | 8 |
| | | 7 |
| 左右 | | 6 |
| | | 5 |
| | | 4 |
| | | 3 |
| | | 2 |
| 上下 | | 1 |
| | オフ | : 3G センサーをオフに設定します。 |

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。



- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。
- 2 **【設定モード】** を選択 (タップ) する。
- 3 **【画像モード設定】** を選択 (タップ) する。「画像モード設定」画面に切りかわります。
- 4 設定したい画像モードを選択 (タップ) する。
- 5 **【戻る】** をタップして設定を確認する。
ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。
- 6 **【実行】** をタップする。
【キャンセル】：画像モード設定をキャンセルし、設定モードにもどる
- 7 **【実行】** をタップする。
【キャンセル】：画像モード設定をキャンセルし、設定モードにもどる
* 録画データなどが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。

ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

その他の機能

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

- * 再生モード中は、録画できません。
- * 外部モニターなどで再生することはできません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。



2 【再生モード】を選択（タップ）する。



3 【常時】または【イベント】を選択（タップ）する。「再生ファイル」画面に切りかわります。



4 [1]本体カメラ、または[2]別体カメラを選択（タップ）する。「再生ファイル」画面に切りかわります。



5 ファイルを選択（タップ）する。再生ファイルが多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、ページをスクロールさせます。

- * 再生ファイル名は、記録された時間の順に表示されます。
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。【⇒P24】
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

安全運転支援機能（本体カメラ）

- * 本体カメラで前方の安全運転支援機能を動作します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。【→P36】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれず判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し一切の責任を負いかねます。

前車発車警告

停車時、前車が発車したことを警告します。



車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定をおこなう必要があります。【→P36】

安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

| 安全運転支援機能（本体カメラ）メニュー | 設定値 | 設定項目 |
|---------------------|-----|---|
| 前車発車警告 | オフ | オン オフ |
| 車間距離保持警告 | オフ | 40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ オフ |
| 車線逸脱警告 | オフ | 40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ オフ |
| キャリブレーション | | 画面で調整します。【→P36】 |
| 警告音 | オン | オン オフ |

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス

キャリブレーション

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【安全運転支援機能（本体カメラ）】を選択（タップ）する。



4 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。

車種を設定する

1 キャリブレーションから「車種」を選択する。

2 一覧から設置する車に近い車種を選ぶ。

- ・乗用車
- ・SUV
- ・大型車

地平線（前方）を調整する

- 1 キャリブレーションから「地平線」を選択する。
- 2 画面を見て赤線が道路の先端にくるように【▲▼】をタップして調整する。



- 3 【戻る】をタッチする。

ボンネットを調整する

- 1 キャリブレーションから「ボンネット」を選択する。
- 2 画面を見て黄線の高さがボンネットの高さと同じになるように【▲▼】をタップして調整する。



* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線をいちばん下に設定してください。

- 3 【戻る】をタップする。

はじめに

取り付けと
準備基本
操作各種
設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全運転支援機能（別体カメラ）

- * 別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。【⇒P39】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいため機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し一切の責任を負いかねます。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- * 警告音設定でオン+イベント録画を設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧

| 安全運転支援機能（別体カメラ）メニュー | 設定値 | 設定項目 |
|---------------------|-----|--|
| 後車接近警告 | オフ | 40 キロ 50 キロ 60 キロ 70 キロ 80 キロ 90 キロ 100 キロ オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。 |
| キャリブレーション | | 画面で調整します。【⇒ P39】 |
| 判定距離 | 10m | 5m 10m |
| 警告音 | オン | オン オフ オン+イベント録画 |

キャリブレーション

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。

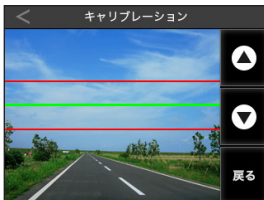


3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【安全運転支援機能（別体カメラ）】を選択（タップ）する。

地平線（別体カメラ）を調整する

1 キャリブレーションを選択する。

2 画面を見て緑線が道路の先端にくるように【▲▼】をタップして調整する。（上下の赤線2本は動きません。）



3 【戻る】をタップする。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 初期設定はオン



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
- * ポイントによりお知らせする場所がかわります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。
- * ポイントによりお知らせする場所がかわります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを500m手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を500m手前でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに一般道に対し、80km/h以上のときに高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。



小学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。



中学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下のときに警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、お知らせをスキップします。

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- ・ 2GB以上のSDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされた空きのmicroSDカード
- ＊ 付属のmicroSDカードにGPSデータを入れて更新しないでください。

■ パソコンの推奨環境

- ・ OS : Windows (8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- ・ CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- ・ メモリ : 1GB以上
- ・ グラフィックメモリ : 256MB以上

■ スマートフォンの推奨環境

- ・ OS : Android 5.0以降
- ＊ iOS、Android4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- ＊ Android5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- ＊ スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



クリック

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

2 リストからDR-C2-VWを選択し、保存をクリックする。



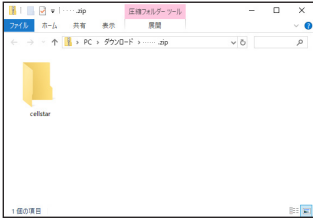
3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



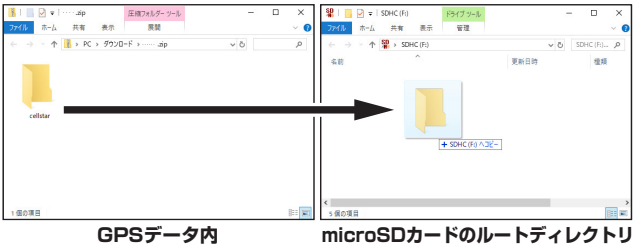
4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



5 ダウンロードされたGPSデータ (ZIPデータ) を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごと microSDカードにコピーする。



最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができてあがります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

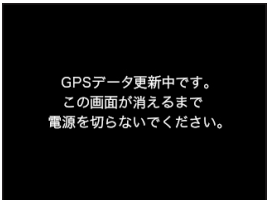
アフター
サービス

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。【⇒P41】
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp/>

- 1 電源ケーブルをはずし、電源を切る。
- 2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。【⇒P18】
- 3 電源ケーブルを接続して電源を入れる。
自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。



GPSデータ更新中です。
この画面が消えるまで
電源を切らないでください。

GPSデータの版数確認

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。
- 2 設定モード→GPSお知らせ機能→データ情報



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPS測位が確定すると「♪GPSを測位しました。」とお知らせします。

✓ アドバイス

お買い求めいただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはトリプルセンサーの計測中に限られます。

超速 GPS について

自転車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

業界最多の対応衛星

GPS、グロナス衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき4種類86基の衛星を受信可能。

* 2021年3月現在稼働数より（一時使用禁止衛星を除く）



準天頂衛星みちびき

準天頂衛星みちびきにより、サブメーター級測位補強情報受信に対応。また、災害・危機管理通報サービスを受信することができます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

災害・危機管理通報機能

お知らせする情報について

本機は、日本全国をおおまかな14の地方（北海道、東北、関東、伊豆諸島、小笠原、北陸、甲信、東海、近畿、中国、四国、九州、奄美群島、沖縄）に分類し、本機が対象地方に含まれる情報だけをお知らせします。

（本機の場所がどの地方に含まれるかは、GPSの測位情報から自動的に判断しています）

対象地方を持たない情報については、本機の場所とは関係なく全てお知らせします。

- * ※対象地方を持たない情報
 - ・ 震源情報・南海トラフ地震情報・北西太平洋津波情報・台風情報
 - また、災害・危機管理通報の割込通知機能は「通報区分」ごとに動作のオン・オフを設定できます。
- * 災害情報は気象庁が発表しています。
- * 危機管理情報は内閣府などによるもので2021年6月現在運用されておりません。
- * 災害・危機管理通報は、気象庁・内閣府などの発表からの理論上の最大遅延時間や電波受信状況により遅延が生じるため、他の機器（携帯電話など）で受信されるタイミングとは一致しません。

| 通報区分 | 災害種別 | 条件 |
|------|--------------------|---|
| 最優先 | 緊急地震速報 | — |
| | 津波 | ・ 津波警報 ・ 大津波警報 |
| | 震源 | — |
| | 震度 | — |
| | 南海トラフ地震 北西太平洋津波 | — |
| 優先 | 火山 | 以下のいずれか ・ レベル4（避難準備） ・ レベル5（避難） ・ 山麓嚴重警戒 ・ 居住地域嚴重警戒 ・ 噴火警報：避難等 ・ 噴火警報：当該居住地域嚴重警戒 ・ 噴火警報：当該山麓嚴重警戒 ・ 噴火 ・ 噴火したもよう |
| | 降灰 | — |
| | 気象 | 発表 |
| | 洪水 | 警戒レベルが以下のいずれか ・ 氾濫警戒情報 ・ 氾濫危険情報 ・ 氾濫発生情報 |
| | 津波 | ・ 津波無し ・ 警報解除 |
| 通常 | 火山 | 以下のいずれか ・ 噴火警報 ・ 火口周辺警戒 ・ 噴火警報（周辺海域） ・ レベル2（火口周辺規制） ・ レベル3（入山規制） ・ 火口周辺危険 ・ 入山危険 ・ 海上警報（噴火警報） ・ 周辺海域警戒 ・ 噴火警報：入山規制等 ・ 火口周辺警戒：入山規制等 ・ 噴火警報（周辺海域）：周辺海域警戒 ・ 噴火警報：火口周辺警戒 ・ 火口周辺警戒：火口周辺警戒 ・ 噴火予報 ・ 噴火予報 ・ レベル1（活火山であることに留意） ・ 活火山であることに留意 ・ 海上警報（噴火警報解除） ・ 海上警報（噴火予報） ・ 活火山であることに留意（海底火山） |
| | 気象 | 解除 |
| | 洪水 | 警報解除 |
| | 台風 | — |

災害・危機管理通報設定

常時録画中に割り込む災害・危機管理通報を通報区分で設定できます。

- * 警告中は「最優先」の情報のみ割り込みます。
- * 設定モードなど本機の操作中は割り込みしません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。

2 【設定モード】をタップする。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、「災害・危機管理通報設定」を選択 (タップ) する。

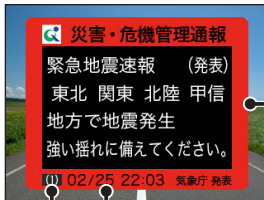


4 通報区分【→P46】ごとに割り込みの有無を設定する

災害・危機管理通報例

■ 緊急地震速報 (最優先) を受信した場合

- * 常時録画動作中に表示されます。(常時録画動作中以外の人に受信した情報は保留されます。ただし、パーキングモード動作中は災害通報の受信はおこないません)
- * 自車位置が警報対象地域に含まれる情報だけを表示します。(例外として「震源」、「南海トラフ地震」、「北西太平洋津波」、「台風」は、現在地に関係なく表示します)
- * 報知画面の内容を確認したら、画面をタッチすることで表示が解除されます。保留されている情報がある場合は、すぐに次の情報が表示されます。



通報区分 (ワクの色)
 最優先 : 赤色
 優先 : 黄色
 通常 : 緑色

発表日時

未読件数 (無し的时候きはハイフン)

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス I

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

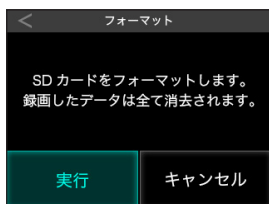
- * microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
- * 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。

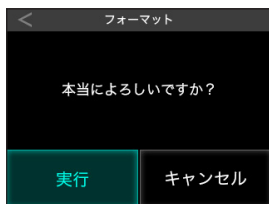


2 【設定モード】を選択（タップ）する。

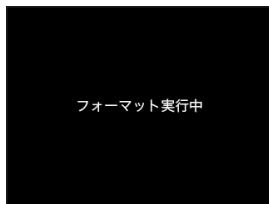
3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【フォーマット】を選択（タップ）する。



4 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「設定モード」画面にもどる



5 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「フォーマット」画面にもどる

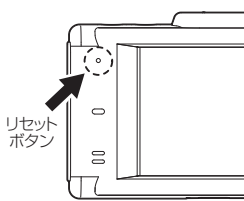


ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

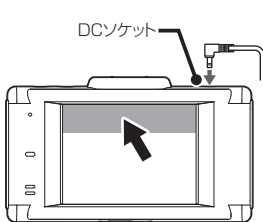
システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

強制初期化

- * microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時【➡P30～P32】にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。



- 1 電源ケーブルのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 画面の上部（本体反転時も上部）をタップしながら電源ケーブルのプラグを接続し、電源を入れると、フォーマット動作に切りかわる。
- 3 フォーマットが実行される。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

キャリブレーション設定

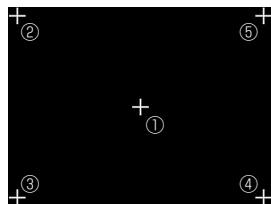
タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切りかえ画面に切りかえる。



- 2 【設定モード】をタップする。

- 3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【キャリブレーション設定】をタップする。



- 4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。
選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、メインメニューへ切りかわります。

タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。
もう一度、正確に画面の
「+」表示を押してください。

左のエラー画面が表示されます。
再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU : Intel Core i3 (4150) 以上 / AMD is Athlon II X4 (650) 以上
- OS : Windows 8 / 10 以上
- メモリ : 1GB 以上
- HDD : 4GB 以上
- GPU : Directx 9.0c、Intel HD2000 以上、AMD HD 5000 / nvidia Geforce 200 シリーズ以上

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、下記URLのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



| 症状 | 考えられる原因 | 参照 |
|---|--|---------------|
| 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。 | P18 |
| 起動時間が長い | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。 | P6 |
| 録画が開始されない | <ul style="list-style-type: none"> microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。 | P6 P18-P19 |
| | <ul style="list-style-type: none"> microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSD カードをフォーマットしてください。 | P48 |
| 急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう | <ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 | P30 |
| ひんばんにイベント録画されるまたは録画されない | <ul style="list-style-type: none"> 「3Gセンサー感度」を調整してください。 *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 | P30 |
| 画面を表示しない | <ul style="list-style-type: none"> 画面がオフになっていませんか。 ・V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。 | P31 |
| 再起動する | <ul style="list-style-type: none"> 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 | — |
| 録画したデータと実際の走行状況が違う | <ul style="list-style-type: none"> 日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 | — |
| パーキングモードを設定できない | <ul style="list-style-type: none"> 本機が駐車監視モードケーブルを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。 | — |
| 設定中に、フォーマット動作になった | <ul style="list-style-type: none"> 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、電源ケーブルを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。 | P19 |
| 設定が初期値にもどる | <ul style="list-style-type: none"> 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 ・新しいmicroSDカードに交換していませんか。 * microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。 | P18 |

製品の仕様

■DR-C2-VWの仕様

| | | |
|---------------|---|--|
| 本体カメラ | 撮像素子 | 200万画素 カラー CMOS センサー |
| | フレームレート | 30fps |
| | 視野角 | 水平 119°、垂直 62°、対角 147° |
| | F 値 | 2 |
| | 最低被写体照度 | 2LUX |
| | 録画画素数 | 200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1) |
| 別体カメラ | 撮像素子 | 200万画素 カラー CMOS センサー |
| | フレームレート | 30fps |
| | 視野角 | 水平 114°、垂直 61°、対角 141° |
| | F 値 | 2 |
| | 最低被写体照度 | 2LUX |
| | 録画画素数 | 200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1) |
| 録画画質 | FullHD | 高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps) |
| | HD | 高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps) |
| | D1 | 高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps) |
| 本体カメラ 録画画角 | FullHD | 水平 119°、垂直 62°、対角 147° |
| | HD | 水平 119°、垂直 62°、対角 147° |
| | D1 | 水平 101°、垂直 62°、対角 129° |
| 別体カメラ 録画画角 | FullHD | 水平 114°、垂直 61°、対角 141° |
| | HD | 水平 114°、垂直 61°、対角 141° |
| | D1 | 水平 96°、垂直 61°、対角 123° |
| 録画圧縮 | 録画 AVI(H.264)、静止画 JPEG | |
| 録画トリガ | 常時録画 / 常時録画 + イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画 *パーキングモード時) | |
| GPS | 有り | |
| HDR | 有り | |
| 3G センサー | 有り (衝撃感度 10 段階) | |
| 対応外部記憶媒体 | GDO-SD32G1(JOV DD9 E01 A3) GDO-SD64G1(JOV DD9 E01 A4) | |
| 記録データ | 日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル | |
| 音声録音 | 有り (オン、オフ設定可) | |
| 外部映像出力 | 有り (本体ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時なし | |
| インターネット地図連動 | 有り | |
| 電源電圧 | DC12V/24V | |
| 動作温度範囲 | -10℃ ~ +60℃ | |
| 本体サイズ | 93 (W) × 25 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 82 (H) mm | |
| 本体重量 | 116g | |
| 別体カメラサイズ | 34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 59 (H) mm | |
| 別体カメラ重量 | 19g | |
| カメラ接続コード | 9.0m | |
| 保証期間 | 3年 | |

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
ス I

製品の仕様（つづき）

■撮影可能時間の目安 * 別体カメラ接続時

| microSD カードの容量 | | 録画品質 | | |
|----------------|--------|----------------------|---------------------|----------------------|
| | | 高画質 常時録画 / イベント録画 | 標準 常時録画 / イベント録画 | 低画質 常時録画 / イベント録画 |
| 8GB | FullHD | 約 24 分 / 約 7 分 | 約 30 分 / 約 8 分 | 約 36 分 / 約 10 分 |
| | HD | 約 41 分 / 約 11 分 | 約 60 分 / 約 16 分 | 約 90 分 / 約 24 分 |
| | D1 | 約 100 分 / 約 24 分 | 約 136 分 / 約 31 分 | 約 211 分 / 約 35 分 |
| 16GB | FullHD | 約 49 分 / 約 13 分 | 約 60 分 / 約 16 分 | 約 72 分 / 約 19 分 |
| | HD | 約 83 分 / 約 22 分 | 約 120 分 / 約 33 分 | 約 181 分 / 約 48 分 |
| | D1 | 約 201 分 / 約 48 分 | 約 272 分 / 約 63 分 | 約 422 分 / 約 79 分 |
| 32GB | FullHD | 約 98 分 / 約 27 分 | 約 120 分 / 約 33 分 | 約 144 分 / 約 39 分 |
| | HD | 約 166 分 / 約 44 分 | 約 240 分 / 約 66 分 | 約 362 分 / 約 97 分 |
| | D1 | 約 402 分 / 約 97 分 | 約 544 分 / 約 126 分 | 約 844 分 / 約 154 分 |
| 64GB | FullHD | 約 196 分 / 約 53 分 | 約 240 分 / 約 65 分 | 約 288 分 / 約 83 分 |
| | HD | 約 332 分 / 約 88 分 | 約 480 分 / 約 132 分 | 約 724 分 / 約 193 分 |
| | D1 | 約 804 分 / 約 193 分 | 約 1088 分 / 約 252 分 | 約 1688 分 / 約 304 分 |

| microSD カードの容量 | 最大録画時間（パーキングモード） |
|----------------|------------------|
| 8GB | 約 216 分 |
| 16GB | 約 433 分 |
| 32GB | 約 867 分 |
| 64GB | 約 1734 分 |

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画* または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
(microSDカード全体容量の73%を使用)
- * パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

各種
設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

お客様相談窓口

■ 製品の操作方法などのお問い合わせ

<セルスター工業株式会社> カスタマーサービス

[受付時間] 9:00～18:00 (土・日・祝日、および休業日を除く)



0570-006867 (ナビダイヤル)



0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・フリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

■ メールでのお問い合わせ

下記URLのよくあるご質問FAQより
質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



■ 不具合（故障）などのお問い合わせ

☎ お買上の販売店様にご相談ください。

販売元 フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員] [一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

製造元 セルスター工業株式会社